

令和3年2月10日

関係小学校第6学年 保護者 様

菊陽町立武蔵ヶ丘中学校
校長 中尾 幸治

ごあいさつ

梅のつぼみがふくらみ、春の訪れを予感する頃となりました。関係の保護者様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

お子様の小学校高学年の日々はコロナ禍での生活となり、予測困難な中で感染防止とさまざまな課題や困難に向き合う毎日でした。そのような中、保護者の皆様におかれましては、お子様の健康に絶えず注意を払い、学びを支えつつ、各学校の取組につきましてもご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、新入生説明会につきましては、現下の県内及び本町の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、感染防止に最大限の配慮を要する状況であるとの判断から、過日、文書で「中止」をお知らせしたところです。

つきましては、新入生説明会で説明・配付する予定であった文書等を別添のとおり同封してお届けします。速やかに内容をご確認いただきますとともに、必要に応じてお子様と共有していただきますようお願いいたします。また、文書によっては配付した封筒に入れて小学校に提出いただくものがございますので、よろしくをお願いいたします。

なお、本件につきましてお尋ねなどございましたら、担当：若元（主幹教諭）、嶋崎・富永（教頭）【武蔵ヶ丘中学校 096-232-4110】まで、遠慮なくお問い合わせください。たいへんお世話になります。

〔まもなく武蔵ヶ丘中学校1年生となるみなさんへ〕

みなさん、小学校の5・6年生の期間は、感染症とともにあるくらしが続きましたが、どのように過ごしましたか。きっと、感染防止に気をつけながら、なかまや下級生のことを思いやり、先生方とも力を合わせてさまざまな困難を乗り越えてこられたに違いありません。みなさん一人一人のそのような行動こそが、親御さんからいただいたかけがえのない命を大切に作る行動であり、社会を支える行動なのです。コロナ禍だからこそ気づいたこと、学んだことを、これからの生活でも生かしていきたいでしょう。

さて、残された小学校6年生という時間を過ごす中で、みなさんにぜひ取り組んで欲しいことが2つあります。1つ目は、「目指される最上級生としての姿やくらしぶりをしっかり下級生に示して欲しい！」ということです。下級生が、「私も6年生になったら、あんなふうになりたい！」と思うような、下級生のモデルであってほしいのです。2つ目は、「立派に成長できたことへの感謝の気持ちを、大切な人にきちんと伝えて小学校を卒業して欲しい！」ということです。考えてみると、親や仲の良い友だちなど、身近な人にこそ「ありがとう♪」が言えていないということはありませんか。小学校を卒業する節目の時に、ぜひ、大切な人に「ありがとう♪」という感謝の気持ちを伝えてください。

今後もコロナ禍での生活が続きそうですが、みなさんならどんな困難な状況でも、なかまと協力して、知恵を出し合い、ねばりづよく行動し、課題を克服していけると信じています。4月の武蔵ヶ丘中学校へのご入学を楽しみにしています。

菊陽町立武蔵ヶ丘中学校 校長 中尾幸治